

第 1 学年 技術・家庭科（技術分野）

教科のねらい

- ① 実践的・体験的な学習活動を通して、コンピュータ活用や生物育成に関する基礎的な知識と技術を習得する。
- ② 技術が果たす役割について理解を深め、それらを適切に活用する能力と態度を身に付ける。

☆学習を進めるに当たって

使用 教材	○教科書：技術・家庭 技術分野(東京書籍)	持ち 物	・教科書 ・ファイル
学習 の 進 め 方	<授業> ○授業に積極的に参加しよう 自分の生活を振り返り、自分のこととして結びつけよう。人の意見を聞いたり教え合ったりすることで、新しいアイデアを手に入れ、実習では生活に役立てられるように基礎的な技術を身に付けよう。 ○必要な知識は覚えよう 基礎的なことや用語を覚えていないと、説明されても「分からない!」となってしまう。基本的なことや用語は早く覚えよう。 ○黒板に書いた内容をしっかり書き留めよう 定期テストは各学期末です。テスト前に学習プリントを見直したとき、意味がしっかりと分かるように、ていねいに書いておこう。 <家庭学習> ○実践して生活に生かそう 学んだ知識や技術を自分の生活場面でどんどん活用しよう。そうすることで、知識や技術の定着が図られます。 <定期テスト> ○1学期末・2学期末・学年末の3回。いずれも家庭科と合わせて50分のテストをします。 ○技術科50点、家庭科50点で合わせて100点満点となります。		
学習 上 の 注 意 等	○授業中の指示をしっかりと聞き、話を聞くときの作業をするときの切り替えをきちんとしよう。 ○指示があるまで待ち、勝手に機械や道具を使わないようにしよう。 ○扱い方を間違えると危険な機械や道具もあるので、安全に気を付け、いつも真剣に授業に取り組もう。 ○授業で話される内容や気づいたことを自分なりに工夫し、プリントにまとめよう。 ○友達と助け合い、教えあい、学び合おう。		

☆学習内容および評価について

学 習 計 画			
学期	月	単 元 計 画	試験
1	4	○コンピュータのしくみと基本操作 ・コンピュータの構成 ・コンピュータの使い方 ・情報の管理	期 末
	5	○作物の栽培	
	6	・成長の変化の観察と管理作業	
		○ソフトウェアの機能と情報の処理	期 末
	7	・文書処理ソフトウェアの利用 ・画像情報の処理 ・処理した情報をまとめる	
2	9	○情報モラルとコンピュータの利用 ・情報の収集・発信のルールとマナー ・情報社会の安全性	期 末
	10	○ネットワークと情報の収集 ・Web ページのしくみ ・情報収集の手法	
	11	・情報伝達の安全性とマナー	
	12	○デジタル作品の設計・制作 ・制作品の構想・設計 ・素材の準備・加工 ・プレゼンテーションソフトウェアの利用	期 末
3	1	・素材の統合 ・制作品の評価・修正 ・制作品の表現・発信	学 年 末
	2	○プログラムによる計測・制御 ・計測制御システム ・プログラムの役割と機能	
	3	・簡単な計測・制御 まとめ	

評価にあたって		
評価観点		評価の場面・方法
生活や技術への関心・意欲・態度	・コンピュータ活用や生物育成に関する技術について感心をもち、生活をよりよくするために知識と技術を進んで活用しようとしている。 ・ルールやモラルを向上させようとしている。	・学習プリントの記入内容 ・授業での発言 ・活動状況の様子 ・忘れ物
生活を工夫し創造する能力	・コンピュータを使って、伝えたいことをうまく伝えられるように工夫することができる。 ・目的の動きに合ったプログラムを工夫して考えることができる。	・学習プリントの記入内容 ・授業での発言 ・活動状況の様子 ・作品の完成度
生活の技能	・コンピュータを使っていく上での、一般的なソフトウェアにおける基本的な操作をすることができる。 ・作物を育てるための環境条件を整えることができる。 ・目的の動きに合ったプログラムを組み、モーター車を制御することができる。	・学習プリントの記入内容 ・活動状況の様子 ・定期テスト ・作品の完成度
生活や技術についての知識・理解	・生活の中での技術の役割について理解し、コンピュータ活用に必要な基礎的な知識を身に付ける。	・学習プリントの記入内容 ・授業での発言 ・定期テスト